

はじめに

この生駒市の環境《令和元年度版》は、平成30(2018)年度における市の環境状況、環境関連計画により実施された環境の保全及び創造に関する施策の状況等を明らかにした年次報告書である。

本市の環境施策に係る計画(環境基本計画、エネルギービジョン、環境モデル都市アクションプラン)の平成30(2018)年度の進捗状況は以下のとおりであり、15項目中8項目で目標を達成することができた。

達成度の区分	表記
目標値(平成30(2018)年度)を達成したもの	○
目標値は未達成だが、前年度よりは改善したもの	△
目標は未達成で、前年度より改善していないもの	▲

基準値は平成19(2007)年度、目標値は平成30(2018)年度の値としている。

目標項目	項目	目標の説明	基準値	目標値	前年度実績	実績	達成度
二酸化炭素排出量削減率	①	平成18(2006)年度比で、14%削減する。(%)		14.0	8.0	(※1) 16.6	○
エネルギー消費量削減率	②	平成18(2006)年度比で、5%削減する。(%)		5.0	9.3	(※1) 18.5	○
太陽光発電普及率	③	太陽光発電の普及率を16.5%にする。(%)	(※2) 4.8 (H23)	16.5	11.4	11.8	△
電力需要見込みに対する太陽光発電による自給率	④	電力需要見込みに対する太陽光発電による自給率を15%とする。(%)	(※3) 2.3 (H24)	(※4) 15.0 (R12)	8.0	8.2	△
ごみ排出量	⑤	平成19(2007)年度比で、1人1日あたり家庭系ごみ排出量を、15%削減して570.0にする。(g/人日)	673.2	570.0	553.1	560.9	○
	⑥	再資源化率を30%にする。(%)	16.8	30	23	22.6	▲
	⑦	事業系ごみを6,721tに削減する。(t)	9,128	6,721	9,000	8,896	△
公共交通	⑧	平成19(2007)年度を基準として、鉄道利用者を現状維持から0.5%増にする。(千人)	19,210	19,306	18,949	18,715	▲
	⑨	平成19(2007)年度を基準として、路線バス利用者を10%増にする。(千人)	5,078	5,586	5,172	5,152	▲
	⑩	コミュニティバスなどの代替交通の新規路線を複数ルート実現(路線数)	1	増加	6	6	○

(※1) 11ページ(1)(2)表の注釈を参照。(※2) 平成23(2011)年度を基準値としている。
 (※3) 平成24(2012)年度を基準値としている。(※4) 令和12(2030)年度を目標値としている。

基準値は平成19(2007)年度、目標値は平成30(2018)年度の値としている。

目標項目	項目	目標の説明	基準値	目標値	前年度実績	実績	達成度	
河川水質	⑪	竜田川の水質を、観測地点平均(年間平均)で生物化学的酸素要求量(BOD)(*)5mg/L以下とする。(mg/L)	阪奈道路下	5以下	7.7	6.1	△	
	⑫				東生駒川合流前	6.7	4.4	○
	⑬				大宮橋下	5.4	4.2	○
	⑭				市境	5.4	3.1	○
環境活動参加人数	⑮	生駒市や生駒市環境基本計画推進会議(ECO-net生駒)が開催する講座や行事への参加者が、10年間の延べ人数で生駒市の総人口である約11万7千人と同数とする。(人)		117,000	108,045	119,137	○	

なお、それぞれの項目の経年変化など詳しくは11～13ページで説明している。

※文章中で(*)のある用語は、90ページ以降の資料編に用語の解説を記載している。